

クラブだより

自治会、ふれまちとの連携も



牧野富太郎の植物研究所跡地

月発行し、本年6月号が第10号となった。その配付は役員が会員相互の見守りを兼ねて会員宅を訪問して行うとともに、10戸毎の階段脇と屋外の各掲示板にも掲出し、非会員の当クラブ活動への理解と協力促進にも努めている。

須磨区

中落合シニアクラブ

坂本 一昭

平成26年頃から当時民生委員の私たち3人は、UR分譲350戸の住民交流の必要性を訴え、平成27年2月に有志31名で中落合シニアクラブを設立した。所在地は名谷駅北東徒歩7、8分の交通至便地で、大型商業施設、病院、北須磨文化センターや落合中央公園も近い。

当クラブならではの活動は広報紙「かわら版」の発刊。会員交流は情報共有から」と設立以降毎

学校にしようと、毎週木曜日に花苗移植、施肥、花柄摘みなどに勤しんでいる。

コロナ禍も緊急事態宣言下以外は感染防止対策をとって活動を継続してきた。だが、自治会が3年間活動自粛で夏まつり中止、ラジオ体操、クリーン作戦も当クラブ単独実施となり参加者数は減少した。今後は自治会との共催などによる活動直直しが急務である。

また、会員の健康づくりと地域の再発見をめざす「里山・歴史ウォーク」を毎年7、8回実施。当クラブが始め、後に花谷ふれまち協議会との共催として、本年5月には兵庫区の「池長植物研究所」跡地を14名で訪ねた。

NHK朝ドラモデルの牧野富太郎が植物分類学研究資料や文献集めで経済的に困窮した際に神戸の資産家・池長孟が大正7年に会下山小公園の麓に設け昭和16年まであった場所だ。ほかにも地元の花谷小学校を校名どおりの花いっぱい



兵庫津ミュージアムから兵庫大仏へ

感動の淡路花比べ・目の前で愛で景観に圧倒され

灘区

篠原青葉会

仁居津 勲

今年は暖かい日が続き、桜はもう半ば葉桜！兵庫は五国で淡路島は神話と海と食、今回は花が主役の旅。区老連の日帰りバスは手軽で、近畿近辺の新しい魅力を案内してくれる。

4月6日(木)、区老連の花見バスは、車窓に六甲山の山桜を見つつ、田んぼの水面に映す4キロの桜並木で有名なおの桜堤回廊は盛り過ぎ。一路明石海峡大橋を抜け、明石海峡公



美しきチューリップの丘

園「チューリップの丘」へ。100万本の新種18万本のチューリップが広い池と新緑の樹々を舞台によく手入れされ育てられた広い美しい数多くの花壇が次々に広がる。形も色も様々に鮮やかな景観で圧倒される。ゆったりと池一周の贅沢な散歩を約1時間、花を愛でながら、同行の仲間と語りながらの夢のようなひと時であった。

あわじハイウェイオアシスで昼食と買物の後あわじ花さじきへ。あわじ花さじき「菜の花畑」には100万本の菜の花が視野一杯に咲き誇る。春の夕陽の迫る中、風が緩やかな斜面を吹きおろし、一面の黄色い絨毯に波風

がそよぐ。こんな景観、爽やかな心地良さに倅せを実感した。司馬遼太郎の「菜の花の沖」を思い出し、高田屋嘉兵衛に想いを馳せる。

そう云えば、灘の花はマリーゴールド、灘の歴史の花は菜の花。朝夕不安定な天気の中、観光中は傘要らず、夕べには陽ざしに恵まれて黄色い花の絨毯と海の広がり、さながら灘区老連の発展を祝福するかのようだ。

感動の花旅にこの時、この処、そして同行の皆さんの活躍と心掛けの影で楽しい一日だった。

空気がおいしく鳥や花を楽しむ「野鳥の会」



バードウォッチを楽しむ様子

北区

中里楽山会

藤原 玉太郎

昨年4月の「観桜会」で会員の方から「自然が近い場所にある当会で『バードウォッチ』をしては？」と提案があり、観察地域を近隣調査した結果で発足することになりました。

第1回は5月に森林植物園へ、10名の参加がありました。「野鳥の会」をスタートしました。

会員で野鳥や草花に詳しいリーダーの安井国夫さんから、まず双眼鏡の扱い方、野鳥の見つけ方、鳴き声の特徴等の説明を受け出発しました。高木にいる鳥、低木の中にいる小さな鳥、目では見えても双眼鏡では見ることが

できませんでした。動きが早く止まっています。場所すらわかりません！

「センダイムシクイ」や「ショウビタキ」そして「コゲラ」などがよく鳴いてくれました。

また、草花が多く咲き乱れて驚くばかり!!色とりどりの菖蒲やおオデマリ、シヤクヤク、そして変わった名前の子ヨウバクチなど楽しい2時間でした。

毎月第3金曜日が定例会です。森林植物園、しあわせの村(藍那の里)、菊水山の三方所を月ごとに決めて観察しています。



野鳥の会のみなさま

令和4年度は10回78名の参加がありました。今後も部員を増やして活動します。☆中里町は有馬街道水呑みバス停から徒歩10分です。鈴蘭台高校があり菊水山のハイキング道の途中に位置します。